

## 市民公益活動推進助成金交付団体の活動状況について

豊中市市民公益活動推進助成金は、地域社会の課題の解決に取り組む団体が、ネットワークを形成しながら、自律的・継続的に発展していくための支援として、その活動に必要な事業費の一部を助成するものです。

平成16年度(2004年度)の助成制度開始からこれまでに交付を受けた団体の、現在の活動状況の概要は、次のとおりです。

今後も、市民公益活動の推進に向け、助成制度の運用状況等についてお知らせしていきます。

※活動状況は、市の市民公益活動団体情報（団体からの申出により掲載）及びインターネット上の情報等により確認したものです。

### 1. 交付の状況（平成16年度から平成30年度まで）

のべ 151 団体（実団体数 86 団体）※複数年度に交付を受けた団体があるため。

(1)初動支援コース のべ 76 団体（実団体数 52 団体）

※52 団体の内、初動支援コース終了後、自主事業コースでも交付を受けた団体 10 団体

(2)自主事業コース のべ 75 団体（実団体数 44 団体）

### 2. 交付団体の活動状況（概要）

1. での 86 団体について、その内 64 団体は、助成金を活用した後、現在も継続して活動を実施しています。

(1)初動支援コースで交付を受けた団体

52 団体内 39 団体が活動を継続

(2)自主事業コースで交付を受けた団体

44 団体内 34 団体が活動を継続

※(1)、(2)の重複は 10 団体（内 9 団体が継続して活動を実施）

○交付を受けた団体の約 74%が、現在も活動されており、助成金交付終了後も継続した取組みが展開されています。

○特に、初動支援コースで助成金の交付を受けた団体の多くから、

「助成金の交付を受けたことで、団体の信用度が上がった」

「他の助成金の交付決定につながった」

などの振返りの声をいただいています。

このことから、初動支援コースでの助成により、資金や信用度等の活動基盤の充実を図り、活動を軌道に乗せておられるものと考えています。

○また、助成金交付事業の報告会（交付の翌年度に実施）等の場において、団体同士の交流や情報交換等が行われ、連携した活動の実施等にもつながっています。

○継続した活動を行っている団体の約 7 割が、例えば講座の参加者からの受講料などの自主財源の充実を図り、自律的・継続的な活動をめざしておられます。